

正則小学校沿革史

- 明治 5 年 富塚村、二ツ寺村の 2 か所に義校が創立される
- 6 年 富塚村に第五番中学区内四十八番小学習静学校が置かれる
花正村に第五番中学区内三十八番小学春秀学校が置かれる
- 10 年 習静学校が富塚学校と、春秀学校が金花学校と改名される
- 13 年 富塚村の富塚学校より、二ツ寺村に分離され、二ツ寺学校が設立される
金花学校から花長村が分離し、金岩村と合同して金岩学校が増設される
また、金花学校は花正学校と改名される
- 20 年 二ツ寺学校、富塚学校、花正学校及び、金岩学校の一部が合同し、尋常小学
二ツ寺学校が設置される
- 25 年 町村制施行により、正則村立正則尋常小学校と改名される
- 39 年 正則村、蜂須賀村、篠田村が合併し、美和村ができる
- 40 年 美和村二ツ寺尋常小学校と改名される
- 大正 6 年 美和村立正則尋常小学校と改名される
- 昭和 16 年 美和村正則国民学校と改名される
- 19 年 太平洋戦争激化のため、二ツ寺月之宮境内に学童用防空壕が掘られた
都市からの疎開児童が増加した
- 22 年 美和村立正則小学校と改名される
PTA が発足する
- 33 年 町制施行により、美和町立正則小学校と改名される
- 35 年 校旗の樹立式が行われる
- 38 年 校歌が制定される
- 40 年 鉄筋 3 階建て校舎の竣工式が行われる
- 43 年 南東校地 4 3 5 坪 (1325.5 m²) を拡張する
- 60 年 児童数増加により、東小学校が新設され、木折地区が移る
文部省委嘱「勤労生産学習研究推進校」として研究発表会を行う
- 平成 9 年 コンピュータ教室を設置する
- 12 年 文部省から学校給食優良学校の表彰を受ける
- 19 年 南校舎耐震補強工事を行う
- 22 年 美和町、七宝町、甚目寺町が合併してあま市ができ、あま市立正則小学校と
改名される
- 24 年 コンピュータ室の P C を入れ替える
- 令和 元年 普通教室にエアコンが設置される
- 2 年 3 月～5 月、新型コロナウイルス感染症拡大により休校
学校行事や授業等の縮小を余儀なくされる
- 3 年 タブレット 1 人 1 台配備 合唱用の音響反射板を購入
- 4 年 体育館トイレ改修工事
- 6 年 北校舎・南校舎トイレ改修工事 南校舎防水工事 電話機交換（自動録音及
び留守番電話対応） 照明設備工事（全館 LED 照明になる）